

様式 1

県立牛久高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- ①「進路を極める牛久」、「人間性を高める牛久」、「国際社会を生きる牛久」を3つの柱とし、生徒が様々な教育活動に参加し、主体的に学び活動できる環境をつくる。
 ②「キャリア教育」を念頭に、教育活動を計画し実践する。生徒一人一人の進路希望の実現を目指す進学校として、知育・徳育・体育の全人的教育を行い、地域から信頼され存在感のある学校を目指す。
 ③社会の一員としての役割を自覚し、実践する心を育成する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>自己の興味関心を広げ、他者と関わり表現する力を育むとともに、自ら問いを立て、主体的に深く探究する姿勢と楽しさを身につける。</p> <p>(1) 人間関係の基礎となる「知る」「関わる」「表現する」といった汎用的能力を高め、言語活動の充実と、学び合う雰囲気を醸成する。 (2) 探究学習の基盤となる自己の興味関心の幅を広げる。 (3) 様々な業界で活躍する熱量のある大人に触れ、講師の生き方・在り方と自分自身の未来を繋げ、キャリア形成の一助とする。 (4) 物事を深掘りすることを通して、探究・研究する楽しさを味わう。</p>	<p>○1年生 ・成果物（プレゼンテーション資料、成果報告書）を各担当者が評価する（①知識・理解）・各単元の最後に実施するリフレクションシートを各担当が評価する（②思考・判断・表現）・グループ内での話し合いの様子を、各担当者が評価する（③主体的に学習に取り組む態度） ○2年生 ・成果報告書を各担当者が評価する。（①知識・理解）・テーマ設定、中間報告会のプレゼンテーションにおける、内容および生徒の批評的視点を、各担当者が評価する。（②思考・判断・表現）・中間報告会および探究発表会のプレゼンテーションを全教員で評価する。（①②③すべて） ・グループ探究を進める中での協働性および主体性を各担当者が評価する。（③主体的に学習に取り組み態度） ○3年生 ・進路探究における生徒の取り組み及び成果物を、各担当が評価する（①②③）</p>	<p>1年生に対しては、グループエンカウンターを通して、話し合いや発表活動がスムーズに行える雰囲気を醸成する。また、「自己」、「他者」、「地域」と興味の輪を徐々に広げていけるように、順序立てて活動を設定している。 2年生では、副担任も含めて1クラスを複数教員で担当することで、生徒情報を共有理解を図った上で、必要に応じて少人数指導や個別指導を行い、探究活動を支援する。 3年生では、進路実現と探究活動をリンクさせることで、相乗効果を生み出す。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>(1) 「私の好きなもの」 自己紹介を紙にまとめて実施する班内プレゼン (2) 「Let's interview！」 大人にインタビューして行うプレゼン (3) 「あなたの知らない薬の世界」 星薬科大の教授による出前授業 (4) 「大学見学発表会」 各自で行った大学見学のプレゼン (5) 「地域資源発掘プロジェクト」 社会人講師を招いて行うキャリアセミナー (6) 「社会人セミナー」 社会人講師を招いて行うキャリアセミナー (7) 「ミニ課題探究」 自由課題で実施する個人課題探究</p>	<p>(1) なし (2) 各自繋がりある社会人 (3) 星薬科大・篠木先生 (4) 各大学広報 (5) 日本地域資源学会会長・塚原正彦先生、近隣研究所（JAXA、産総研、農研など） (6) 4名の社会人講師（未定） (7) 各自興味関心のある外部施設および社会人</p>	<p>・人間関係の基礎となる「知る」「関わる」「表現する」といった汎用的能力を高め、言語活動の充実と、学び合う雰囲気を醸成する。 ・探究学習の基盤となる自己の興味関心の幅を広げる。 ・様々な業界で活躍する熱量のある大人に触れ、講師の生き方・在り方と自分自身の未来を繋げ、キャリア形成の一助とする。</p>
2年	<p>(1) 「個人課題探究」 自由課題の個人探究 (2) 「ビブリオバトル」 聴衆が読みたくなるような本の紹介 (3) 「修学旅行グループ探究」 沖縄・伊江島で行うグループ探究</p>	<p>・牛久市商工会 ・牛久市役所 ・日本地域資源学会会長・塚原正彦先生 ・各自興味関心のある外部施設および社会人</p>	<p>物事を深掘りすることを通して、探究・研究する楽しさを味わう。</p>
3年 (科目名)	<p>(1) 「進路探究」 各自の進路希望に応じた、興味関心の深掘りおよび進路実現に向けたチャレンジ</p>	<p>・各自興味関心のある外部施設および社会人</p>	<p>物事の本質を追究する経験の深化により、進学後においても機能する探究的資質を育成する。また、生涯にわたって絶えず問いを立て続け、課題解決する姿勢を確立させる。</p>